

令和5年度沖縄県職員採用ガイダンス 説明資料 【行政職(文化観光スポーツ部)】



令和5年12月22日
文化観光スポーツ部

目 次

1 文化観光スポーツ部の組織の概要

2 沖縄観光振興に関する施策展開 ～沖縄観光の現状と取組について～ (観光政策課 主任 上原 幸大)

3 FIBAバスケットボールワールドカップ2023 開催 支援の取組 (スポーツ振興課 主任 金城 恭彦)

1 文化観光スポーツ部の組織の概要

課名	業務概要	職員数
観光政策課	観光振興に関する計画・制度等の推進、観光統計及びマーケティングの充実強化、世界から選ばれる持続可能な観光地の形成に向けた企画・調整	30
観光振興課	安全・安心で快適な受入体制の整備、持続可能な観光資源の活用、観光人材の育成及び確保、国内外の観光需要に対応した戦略的なブランディング及び誘致活動の展開	22
MICE推進課	大型MICE施設の整備、戦略的なMICEの振興、全県的なMICE受入体制の整備の推進、マリンタウンMICEエリアの形成の推進、観光地形成促進地域制度の活用等による魅力ある民間観光施設の整備促進	16
文化振興課	文化・芸術の創造、育成及び発信、伝統文化の保存と継承、文化産業の創出と育成、文化組織・文化団体の活性化促進と連携	15
空手振興課	沖縄空手振興ビジョンロードマップの推進、「空手発祥の地・沖縄」の国内外への発信強化、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録への推進、学術研究調査の推進、沖縄空手会館運営の充実、沖縄空手世界大会及び空手セミナーの開催	8
スポーツ振興課	県民が主体的に参加する生涯スポーツの推進、競技スポーツの推進、スポーツコンベンションの推進、スポーツの産業化の戦略的な推進、スポーツ施設の充実	31
交流推進課	ウチナーネットワークの継承と発展の推進、国内・国外交流の促進、多文化共生社会の形成促進、国際協力・貢献活動の促進、「世界のウチナーンチュ大会」開催に向けた取組の推進	23
合 計		145

※職員数は定数外(兼務・臨任等含む)

沖縄観光振興に関する施策展開

～沖縄観光の現状と取組について～



2023年12月

沖縄県文化観光スポーツ部

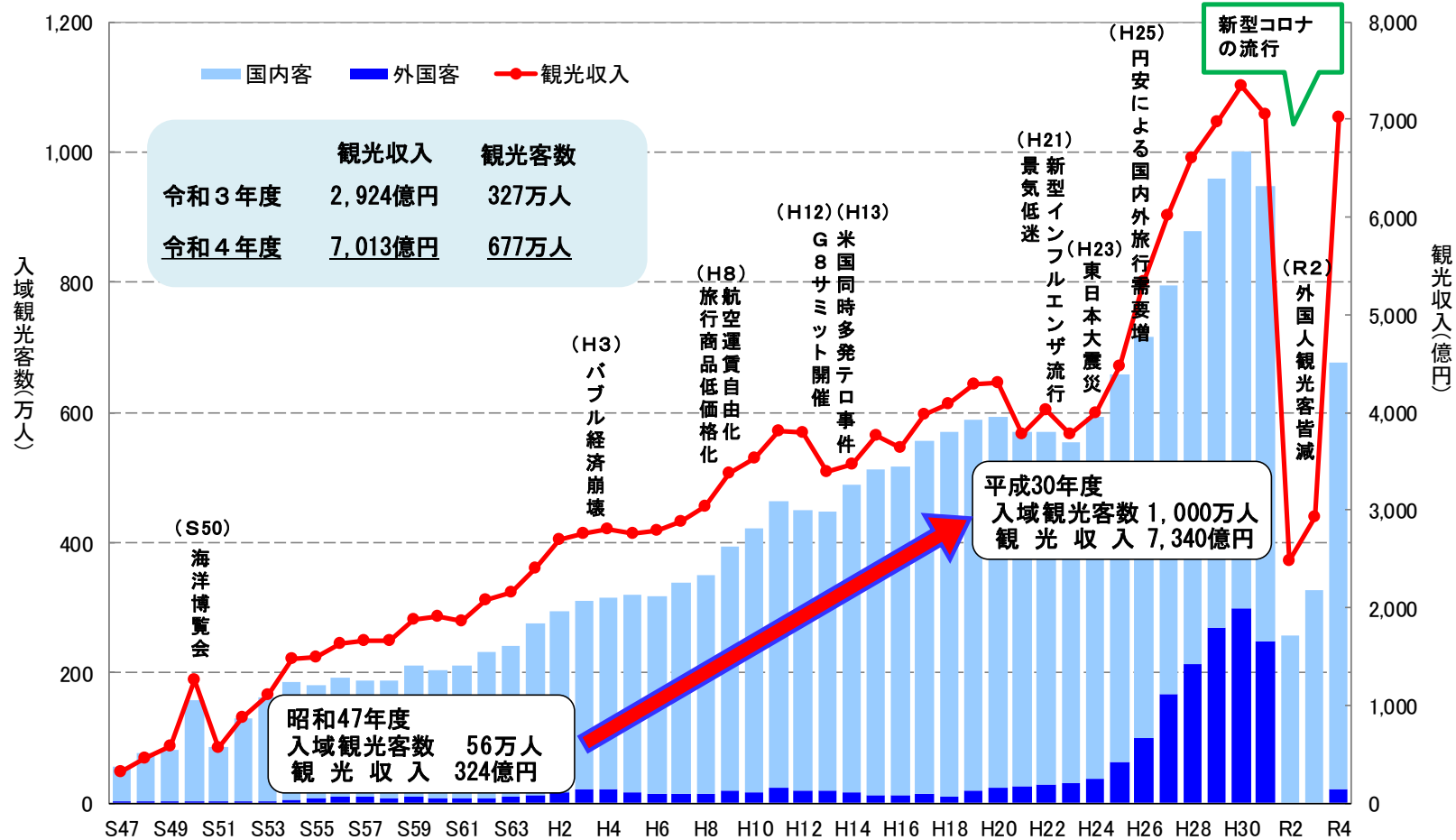
I 沖縄観光の現状

- 1. 入域観光客数及び観光収入の推移**
- 2. 一人当たり観光消費額の推移**
- 3. 平均滞在日数の推移**

II 第6次沖縄県観光振興基本計画

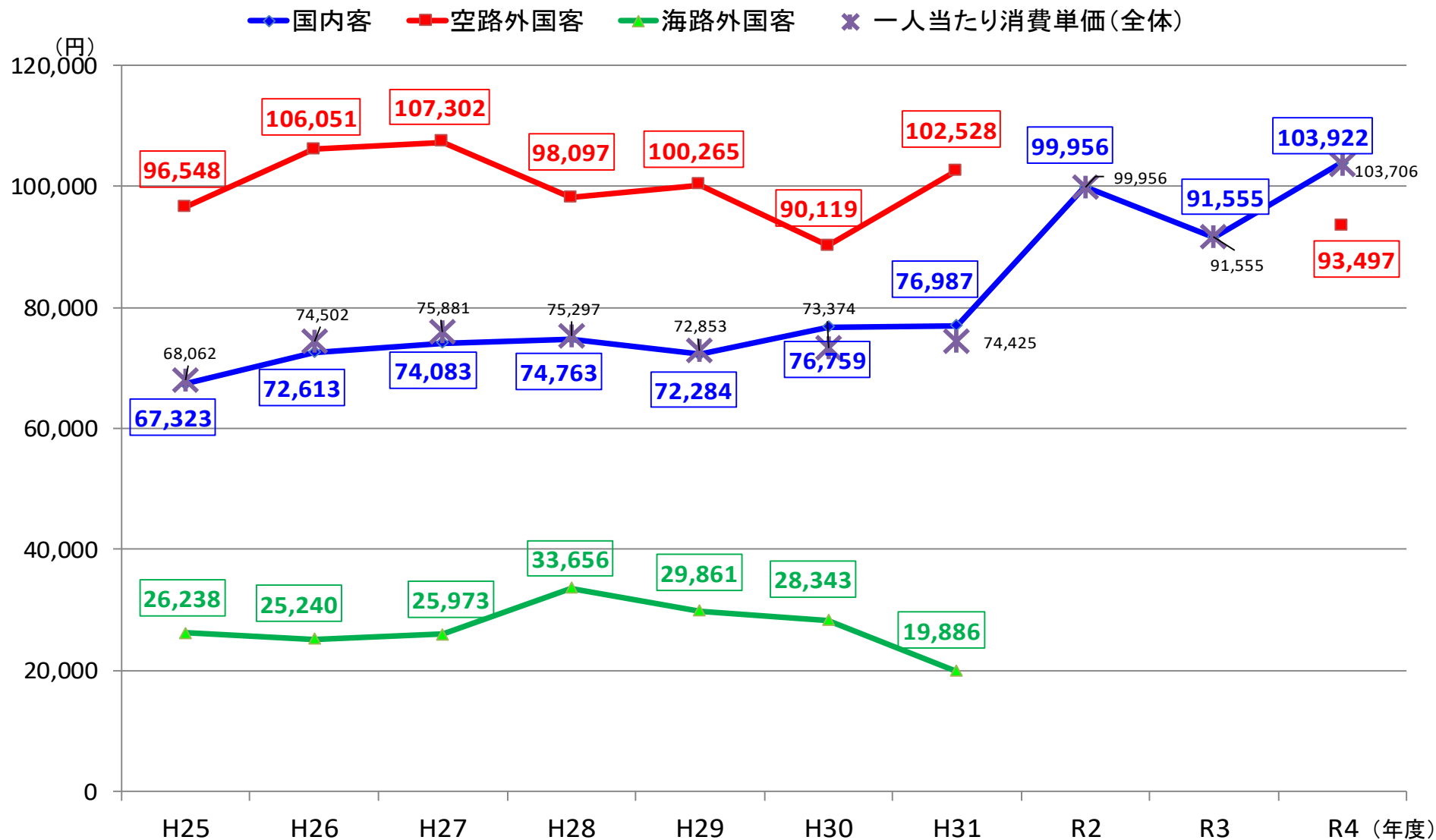
III 令和5年度の主な取組・トピックス

I 1. 入域観光客数及び観光収入の推移

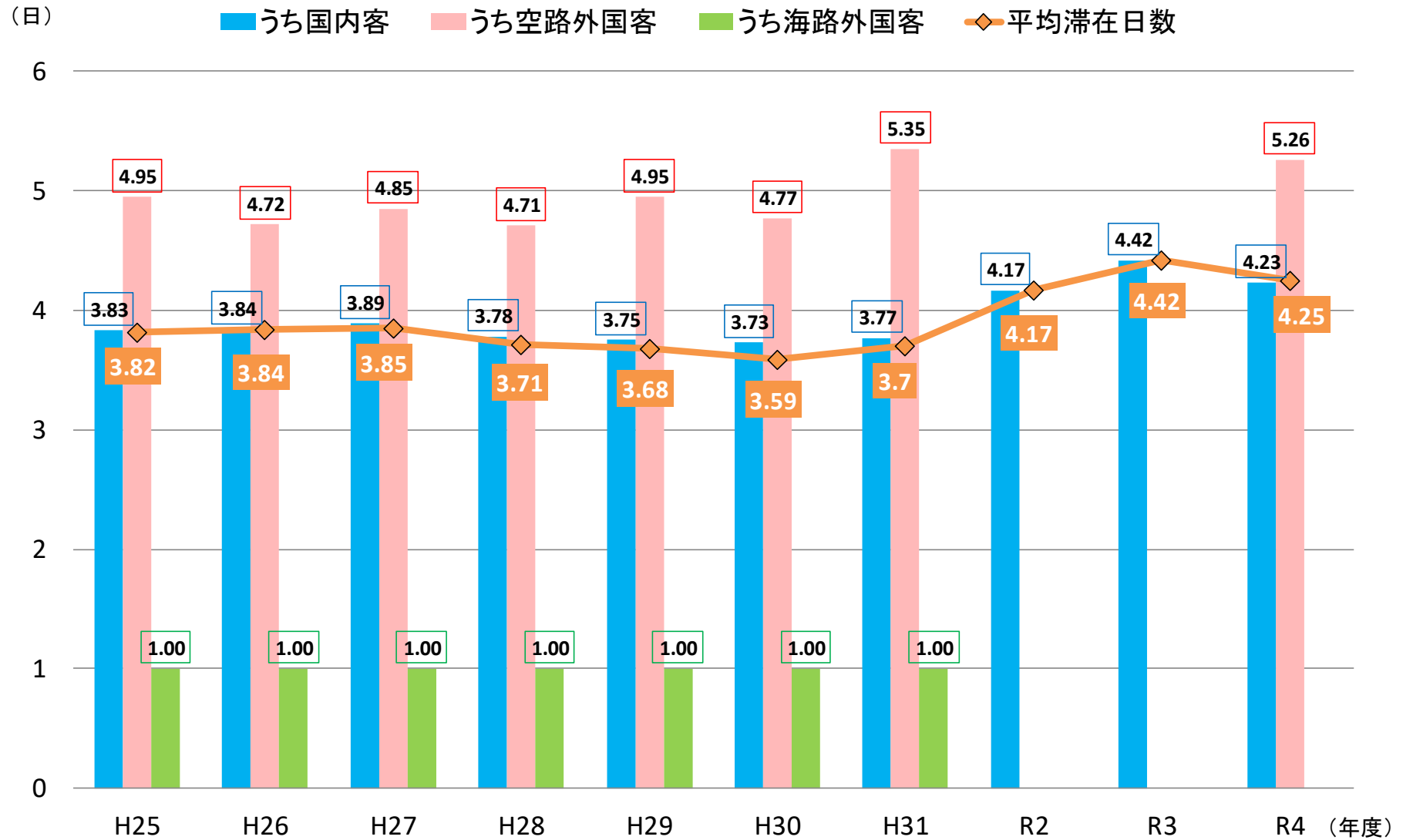


	1972(S47)年度	1998(H10)年度	2013(H25)年度	2018(H30)年度	2020(R2)年度	2022(R4)年度
入域観光客数	558,593人	4,216,700人	6,580,300人	10,004,300人	2,583,600人	6,774,600人
観光収入	(※暦年) 324億円	(※暦年) 3,527億円	4,479億円	7,341億円	2,485億円	7,013億円

I 2 . 一人当たり観光消費額の推移



I 3. 平均滞在日数の推移



I 沖縄観光の現状

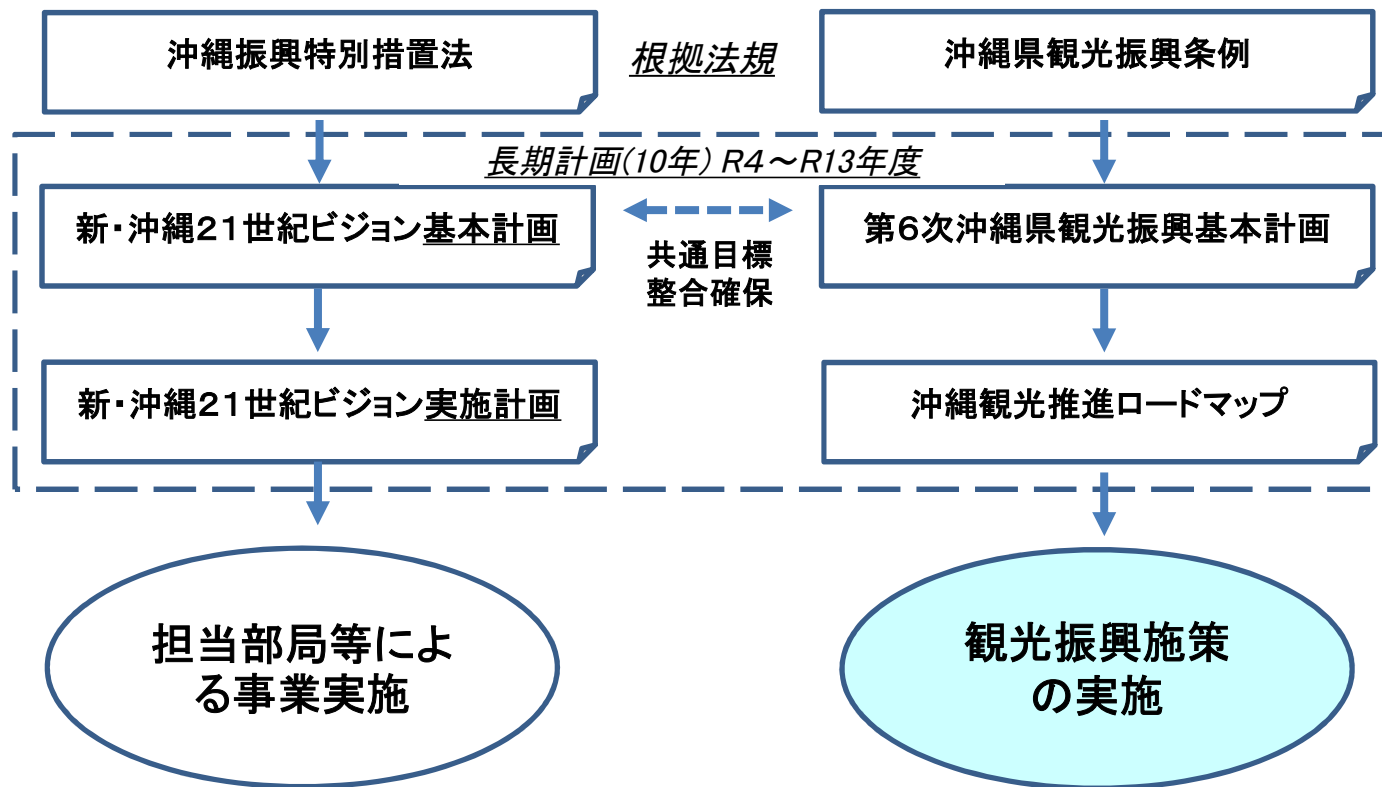
II 第6次沖縄県観光振興基本計画

1. 第6次沖縄県観光振興基本計画の体系
2. 第6次沖縄県観光振興基本計画の目標

III 令和5年度の主な取組・トピックス

II 1. 第6次沖縄県観光振興基本計画の体系

- 第6次沖縄観光振興基本計画は、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画を上位計画とした分野別計画として、観光の振興に関する基本的な方向を明らかにするもの
- 2つの基本計画(長期:10年計画)は数値目標等について整合をとり策定



II 2. 第6次沖縄県観光振興基本計画の目標

目指すべき将来像／VISION

「世界から選ばれる持続可能な観光地」

世界とつながり、時代を切り拓く「美ら島 沖縄」

計画の目標値／OUTCOMES

「社会」の視点

- ・県民の幸せ感90%
- ・観光事業者の満足度80%
- ・観光客の満足度80%

「経済」の視点

- ・観光収入1.2兆円
- ・人泊数4,200万人泊
- ・観光事業者20代平均年収 280万円
- ・役職者平均年収448万円

「環境」の視点

- ・再生可能エネルギー対応観光関連施設数 100件
- ・「プラスチック」廃止宿泊施設数 100件
- ・「3010運動（フードロス削減）」を奨励しているホテル数 100件

将来像に向けた「持続可能な観光地域づくりの追求」／MISSION

県民、観光客、観光業従事者が、自然、歴史、文化を尊重し、それぞれの満足度を高めるとともに、環境容量の範囲において観光産業の成長と維持を目指すことで、沖縄経済を最適に活性化させる。

基本施策

- ▶ 安全・安心・快適でSDGsに適応したマネジメント
- ▶ 多彩かつ質の高い観光に向けたDXの推進
- ▶ 沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進
- ▶ 基盤となる旅行環境の整備
- ▶ 脱炭素・グリーンリカバリーへの積極的な対応
- ▶ 人材育成と人材確保の推進

Ⅲ 沖縄空手の保存・継承・発展

第2回沖縄空手少年少女世界大会

- 第1回大会は2022年に開催し、選手として参加した1,196人のうち、県外から100人、海外23カ国から42人が参加しました。
- 第2回大会の県内予選は令和6年1月開催、本選は令和6年8月開催
- 観光客数回復が見込まれる令和6年度の第2回大会には県外・海外から多数の参加を見込んでいます。

沖縄空手メタバース

- メタバース（コンピュータの中に構築された三次元の仮想空間）で、いつでも、世界中のどこからでも【空手発祥の地・沖縄】を訪問し、アバター同士で会話等のコミュニケーションを行うことができます。
- 令和5年3月29日から配信中。
今後空間を拡張し、発信力を高めていきます。

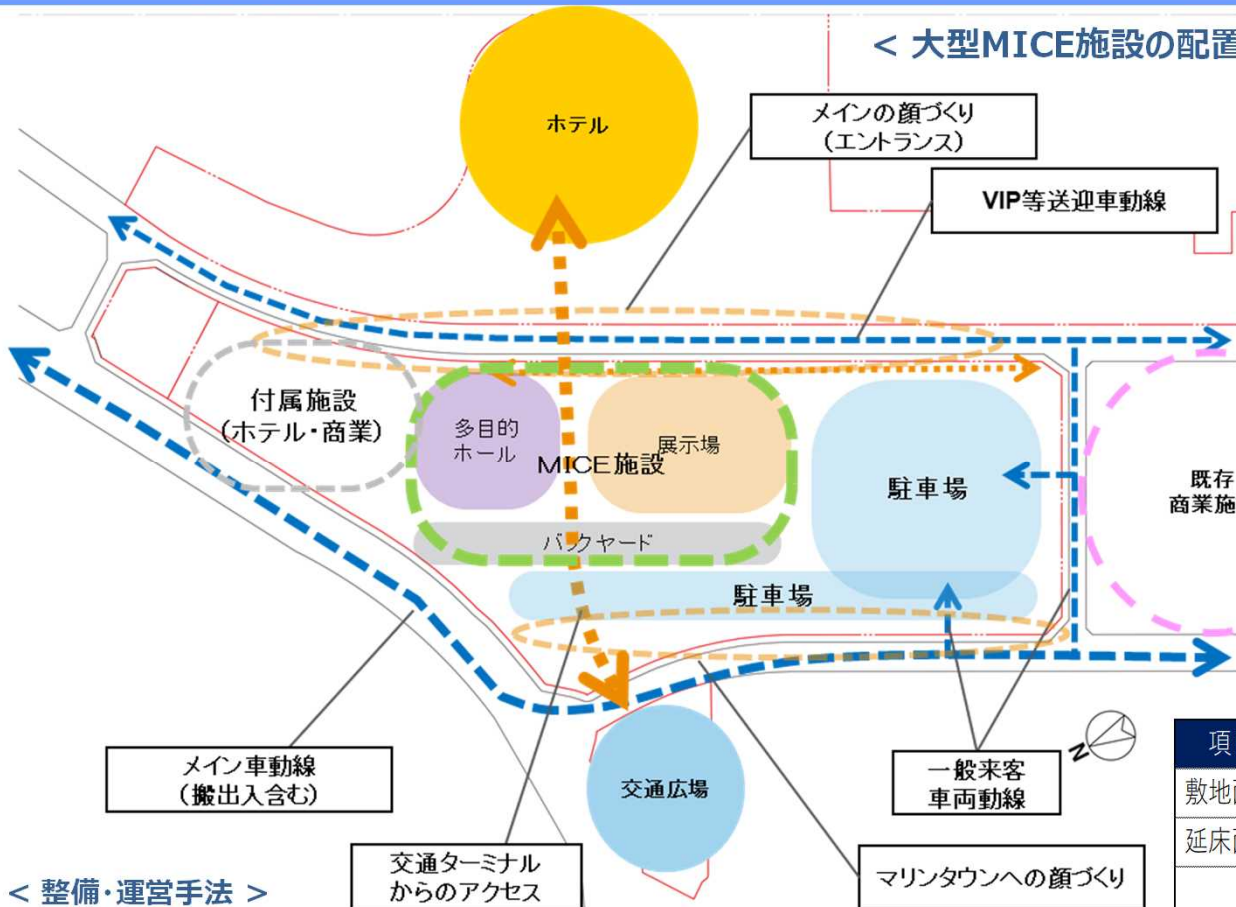


※ポスター、ロゴは第1回大会開催時



Ⅲ 大型MICE施設の整備

< 大型MICE施設の配置計画 >



大型MICE施設の整備が予定されている
中城湾港マリンタウン地区

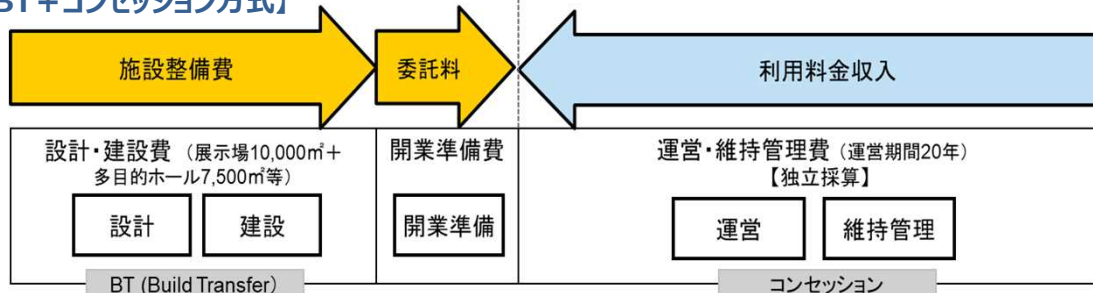


沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画より

< 大型MICE施設の概要 >

項目	内容
敷地面積	14.5ha
延床面積	約88,700㎡
施設構成	<ul style="list-style-type: none"> ・展示場 (面積約10,000㎡) ・多目的ホール (面積約7,500㎡) ・ホワイエ、会議室 (20室~30室)、付帯施設 ・一般車用立体駐車場、大型バス駐車場、荷捌き ・H3-TゾーンとH1ゾーンを結ぶペDESTリアンデッキ ・その他民間事業者の提案する施設

< 整備・運営手法 > 【BT + コンセッション方式】

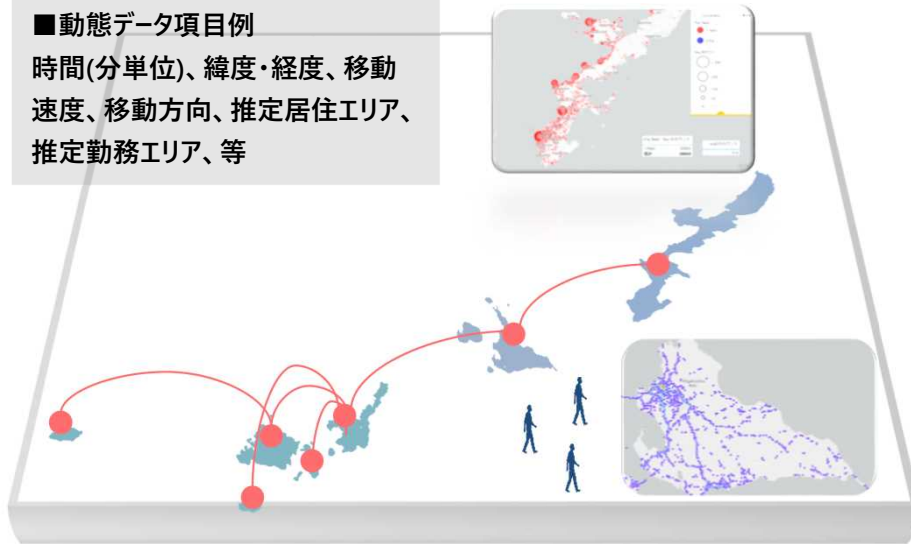


Ⅲ 観光DXの取組

沖縄県を訪れた観光客の携帯電話のGPS位置情報を利用して、観光客が訪れた観光地や観光ルート、滞在時間などの行動歴等を、居住地、性別、年齢の属性別、季節毎に調査分析

■動態データ項目例

時間(分単位)、緯度・経度、移動速度、移動方向、推定居住エリア、推定勤務エリア、等



調査分析結果

属性別に行動歴等を把握し、観光客の動向を踏まえた**ターゲットマーケティング**を展開



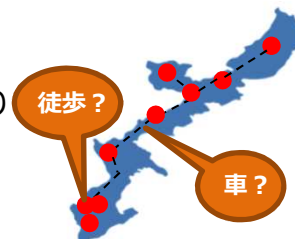
滞在の可視化

そこに訪れた訪問者の**滞在**状況を可視化



移動の可視化

そこに訪れた訪問者の**移動**状況を可視化



周遊の可視化

そこに訪れた訪問者が**次にどこに行ったか**を可視化



ご清聴ありがとうございました！



「Be.Okinawa」

～美しい自然とあたたかい人たちに囲まれて、本来の自分を取り戻せる島～

沖縄の人々の生き方そのものが、物語となって、その魅力をカタチ作っている。

その豊かな物語性に触れられるからこそ、沖縄を訪れた人々は、自らを振り返り、元気づけられる

関連サイト <http://beokinwa.jp/>

スポーツ振興課の取組みについて①

沖縄県では、スポーツ振興のコンセプトとして「世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成」を掲げており、具体的には以下の実現を目指して取組みを進めております。

- ① 県民が健康・長寿であるため生涯を通してスポーツを楽しむこと（生涯スポーツの推進）
- ② 国内外で活躍するトップアスリートを輩出すること（競技力向上）
- ③ 我が国の南端のスポーツ交流拠点として年間を通じたスポーツコンベンションが開催されること（スポーツツーリズムの推進）
- ④ 沖縄の地理的特徴や恵まれた自然・温暖な気候、特色ある地域・文化・産業とスポーツを関連づけ、スポーツの持つソフトパワーを活用することにより、地域・経済の活性化につながる取組みが全県的に行われていること（スポーツの産業化）



スポーツ振興課の取組みについて②

○プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業

プロ野球キャンプ観戦を目的とする観光を推進し、来訪者の増加を図るため、プロモーションや情報発信等を実施。



○サッカーキャンプ誘致戦略推進事業

冬場の誘客効果を高める取組として、国内外からのサッカーキャンプ誘致や芝生環境の向上による受入体制の強化等を実施。



○スポーツ観光戦略的誘客促進事業

県外、海外からのスポーツ観光誘客を促進するため、ターゲット層等に対してプロモーション活動を実施するとともに、スポーツ観光として来県した観光客のニーズを把握し、消費単価拡大等に向けた取組みを実施。



FIBAバスケットボールワールドカップ2023の結果

- **大会結果** 1位 ドイツ 2位 セルビア 3位 カナダ 4位 アメリカ
※沖縄グループステージを勝ち上がったドイツが初優勝を飾った。

- **日本代表の成績** 日本代表 19位
※アジアの中で最上位となり、2024年夏に開催されるパリ五輪の出場権を獲得した。
 - ・第1戦 日本●VSドイツ○ 63-81
 - ・第2戦 日本○VSフィンランド● 98-88
 - ・第3戦 日本●VSオーストラリア○ 89-109
 - ・第4戦 日本○VSベネズエラ● 86-77
 - ・第5戦 日本○VSカーボベルデ● 80-71

- **観客数** 沖縄アリーナへの観客数 約125,000人



大会ロゴ



沖縄ホストシティロゴ

私たちが目指したこと

一過性の国際大会で終わらせるのではなく、
このワールドカップを活用して

- ① 沖縄の子ども達が世界に目を向けるきっかけを創りたい
- ② 大会を盛り上げて、地域・経済の活性化を図りたい
- ③ 運営ノウハウを蓄積して、次の国際スポーツ大会を誘致したい

沖縄振興に繋げることが重要



DREAM BIG OKINAWA

— ワールドカップを通じた、大きな夢を抱ききっかけづくり —

Meet the World : 海外の学校と交流し、世界をもっと知りたいと思うきっかけづくり、子どもたちの国際感覚を育てる

Meet the Dream : 世界トップクラスのアスリートの技術、考え方に触れる機会を創出し、子どもたちの感性を刺激する

Meet the Culture : 沖縄に誇りを持つ、沖縄の良さを世界に発信する担い手となる

Meet the Meal : 食を通じて健康や、日本以外の国について学ぶ



インドネシアの子ども達と交流



オープニングセレモニーでの演舞



本戦（沖縄アリーナ）へ子ども達を招待



バスケットボールクリニック



ドイツ料理の給食



事前合宿チームとの交流



ワールドカップの機運を高める取組

モノールや町中のシテイドレッシング



県外イベントへのブース出展



大会開催支援の様々な取組

ボランティア文化の定着



渋滞対策及び観客輸送



アスリート受入及び警備



ファンゾーン (パブリックビューイング)



私たちが取り組んだこと

今回のワールドカップを通して

① 沖縄の子ども達に、世界に目を向けるためのきっかけづくり

- ・国際交流
- ・伝統文化の発信
- ・大会への招待
- ・トップアスリート等との交流

② 大会を盛り上げ、地域・経済の活性化に繋がる取り組み

- ・シティドレッシング
- ・イベントへのブース出展
- ・CMやラジオ等でのPR
- ・ファンゾーン（パブリックビューイング等）の構築

③ 大会開催の支援、運営ノウハウの蓄積

- ・渋滞対策や観客輸送
- ・アスリート受入
- ・警備
- ・ボランティアの運営





WIN FOR ALL

**GET READY FOR THE
FIBA BASKETBALL WORLD CUP 2023**